

# レッツ チャレンジ「いなほの子」!

校長 遠藤倫夫

本校は、今年度、創立140周年の節目の年を迎えました。創立以来4300余名の卒業生を輩出し、地元をはじめ広く社会で活躍されています。140年変わらぬことは、子ども達に対する保護者や地域の方々の温かな愛情と、子ども達の健やかな成長への大きな期待、そして、物心両面からの心強い支えです。家庭、そして地域の宝である子ども達の無限の可能性を引き出し、皆様の期待に応えて参ります。

さて、平成25年度の添川小学校の教育の重点は、「いなほの子ども」の育成です。

<めざす子ども像>

## 「いなほの子ども」

- ① **い** ~ いきいき 夢と目標を持ち、いきいきとチャレンジする子ども
- ② **な** ~ なかよく 自分の考えを持ってなかよくし、高め合う子ども
- ③ **ほ** ~ ほこりを持って 誇りを持って伸びようとする子ども

< スローガン > **レッツ チャレンジ! いなほの子**

「いなほ」という言葉は、昭和44年度に創刊された本校の学校文集の名前です。

「実るほど頭を垂れるいなほかな」～豊かな田園地帯の中にたつ本校の子ども達に対する保護者や地域の方々の願いが込められた言葉です。爾来、その願いは今も変わることなく、本校の教育活動には、「いなほ」という言葉が冠され、40数年大切に受け継がれてきました。「いなほの子ども」は、創立140周年の節目にあたり、これからの子ども達に期待する姿として、また、学校と家庭、地域が一緒になって育てていきたい子どもの姿として設定しました。

「いなほの子ども」の育成のために、次のことに取り組みます。

### 1 全ての教育活動の中に「いなほ」の場面をつくる

#### **い**きいき ~ 学習や活動のめあてを明確に持たせる

今日の学習で、「やってみたい」、「できるようになりたい」、「わかるようになりたい」という気持ちは、活動の原動力です。目標をはっきりさせることで、いきいきと取り組みます。

#### **な**かよく ~ かかわり合って活動する

協力の楽しさを味わったり、切磋琢磨、時には、友達と意見のぶつかり合いも必要です。一人一人の考えや個性を發揮し、違いを認め合うことで一層高め合うことができます。

#### **ほ**こり ~ 振り返りの活動を大切に設定する

学習や活動の振り返り、自分や友達ががんばったことや伸びたことを自覚させる場面を大切に設定します。めあてを達成したことを喜び、不十分な点も次のめあてにつなげていきます。

## 2 自主性を伸ばす

子ども同士のかかわりを通して、互いに声をかけ合ったり、協力したりして、自分たちで考え、判断して行動できるようにします。

- 児童会活動や学級活動での話し合いの仕方の指導
- さわやかなあいさつ～ 全校生によるあいさつ運動 こんにちは運動
- 終日ノーチャイム行動

## 3 考える力を伸ばし、確かな学力をつける

本校は、少人数、そして複式学級があり、一人一人へのきめ細やかな指導と共に、指導内容を精選し、焦点化した授業が求められます。確実に身につけさせなければならない基礎的・基本的な内容の定着を図る指導と共に、授業の中で、書いたり、話したり、表、図などにまとめて説明したりして「考える力」を伸ばし、確かな学力を育てていきたいと考えています。

- 「書く力」「話す力」の向上を図る授業づくり
- 複式授業の特性である主体的な学び方の全学級での活用
- 読書習慣の定着～図書室整備、図書充実、読み聞かせ、全校読書、家庭読書

## 4 伸びを実感できる運動と生活リズムの改善に取り組む

昨年度の体力テストや子どもの実態を踏まえて、今年度の運動・体力向上の目標として、走力の向上、持久力の向上の2点としました。とりわけ、持久力の向上は、全ての力の基礎となるものにとらえ、子ども達が楽しく、進んで取り組めるように、運動内容を工夫しました。

また、全ての基本は、望ましい生活リズムです。今年度は、メディアとのかかわりに焦点をあて、気持ちよくすっきりと目覚め、いきいきとした生活を送ることができるようにするにはどのようにしたら良いのか、自分の生活リズムの見直しをもとに進めて参ります

- 体力向上の取り組み改善充実
  - ・さわやかタイムの改善充実～ 走力向上 毎朝の持久走 楽しむ運動
- メディアとのかかわりを見直し、目標をもった生活リズムの向上

以上のことを今年度の取り組みの重点として取り組んで参ります。「いなほの子ども」として変容した姿は、「堂々と自分を表現できる姿」です。自分の努力に、自分の成し遂げた結果に自信を持ち、友達や家族の励ましや協力に感謝し、堂々と自分のことを表現できる姿を目指して努力して参ります。